

平成22年8月11日
発行

ほつと連携

◆発行／北見赤十字病院地域医療連携室 北見市北6条東2丁目1番 ◆発行責任者／吉田 茂夫
http://kitami.jrc.or.jp E-mail : renkei@kitami.jrc.or.jp



十^字は、昭和10年に開設以来、北海道の東部・オホーツク医療圏の中核病院として、「人道・博愛に基づき、患者様を尊重した医療を提供し、地域の期待と信頼に応えます」の理念のもと、地域住民の皆様に支えられながら、親しまれ、信頼され、そして医療が成長できる病院づくりをして来ています。しかしながら、医療界の取り巻く環境の変化は激しく、これから先も劇的に変化していくことを予想されています。

昨年の9月の民主党連立政権発足により、地域医療の崩壊を招いてきた医療費抑制策の大幅な転換が期待されました。が、平成22年度の診療報酬改定では、経済状況のさへなる悪化の影響を受け、医療費全体では10年ぶりのプラス改定ではあるものの、引き上げ幅は僅か〇・19%という結果となり、経済状況の改善効果が期待できない改定率となりました。平成20年度は公的病院の名割が赤字財政となっています。

近年、最大の課題である医師不足やこれによる勤務医の過重労働の問題の解消に向け医療部の苦悶増は始まったものの、臨床現場における増員には10年近くの時間を要するもので、当院において又、地域における増員には10

ひと・まち・自然さらめく才オホーツク中核都市の北見市に北見赤十字は、昭和10年に開設以来、北海道の東部・オホーツク医療圏の中核病院として、「人道・博愛に基づき、患者様を尊重した医療を提供し、地域の期待と信頼に応えます」の理念のもと、地域住民の皆様に支えられながら、親しまれ、信頼され、そして医療が成長できる病院づくりをして来ています。しかしながら、医療界の取り巻く環境の変化は激しく、これから先も劇的に変化していくことを予想されています。

また、4疾病5事業を中心的に扱う公的医療機関には、公立病院のような運営本体への特別な財政支援が行われないまま、救急や小児、周産期等を始めとした不採算医療への取り組みも期待されます。特に、小児科、産科、外科などの医師不足と救急医療による医師の疲弊は全国的に深刻な問題となっています。

地方におきましては人的、物的にも医療資源が限られる中では、地域における医療施設の再編、機能分化が必須であるといわれ、北海道におきましては、北見赤十字病院においても同様となっています。

地方におきましては人的、物的にも医療資源が限られる中では、地域における医療施設の再編、機能分化が必須であるといわれ、北海道におきましては、北見赤十字病院等広域化・連携構想が平成20年1月に策定されました。が、30区域の連携構想のうち5ヶ所のみの策定となりました。これとは別に国が進めた地域医療再生基金は100億程度、10地域、25箇所、84地域の予算規模が25億、94地域へと75の倍が執行停止となり大変残念に思つたところです。医療施設の支援が政治や行政主導で担い進められることが期待しております。以上、今年度も医療を取り扱う環境は大変厳しいものであります。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます。

就任ご挨拶

事務部長 佐藤信博

保育園は重要な課題となります。

しかしながら、国民の視点では、皆保険制度において医療は教育と同様に全國的に同一に提供されるべきものであ

り、行政、住民が共同して取り組む問題で、生活をするための安全、安心のためのインフラ及び社会資産の確保と

ひと・まち・自然さらめく才オホーツク医療圏において貢献していかなければなりません」と考えております。

また、4疾病5事業を中心的に扱う公的医療機関には、公立病院のような運営本体への特別な財政支援が行われないまま、救急や小児、周産期等を始めとした不採算医療への取り組みも期待されます。特に、小児科、産科、外科などの医師不足と救急医療による医師の疲弊は全国的に深刻な問題となつて

おります。特に、小児科、産科、外科などの医師不足と救急医療による医師の疲弊は全国的に深刻な問題となつて

います。このため、眼られた医療資源を効率的に活用するため地域医療機関と連携をさらに推進し、高齢医療に向けた体制、がん診療連携拠点病院機能、リハビリテーション医療、重症期医療、救急医療、災害医療拠点病院機能、臨床研修施設(初期、後期)、看護大学臨床研修等の確保をはじめ医療提供体制の構築を行っていかなければなりませんが、急速に進歩し続ける医療に対応するため又、國から地域災害医療センターに指定されていることによる災害時にも自治体病院等広域化・連携構想が平成20年1月に策定されました。が、30区域の連携構想のうち5ヶ所のみの策定となりました。これとは別に国が進めた地域医療再生基金は100億程度、10地域、25箇所、84地域の予算規模が25億、94地域へと75の倍が執行停止となり大変残念に思つたところです。医療施設の支援が政治や行政主導で担い進められることが期待しております。

●平成22年度 内科系3診療科オープンカンファレンス

●症例検討内容

	題 名	発 表 者
第1回	「周期的な発熱、胸痛を繰り返す若年男性例」	内科・総合診療科 佐藤健夫
	「胆石性急性膵炎の重症例」	消化器内科 上林 実
第2回	「左下腿の痛みおよび腫脹を訴える66歳女性」	内科・総合診療科 永島貴博
	「癌性心膜炎による心タンポナーデに対する心臓穿刺について」	循環器内科 齋藤高彦
第3回	「從来より胸部腫瘍影があり急激な胸水貯留をきたした一例」	内科・総合診療科 大野広志
	「インスリン治療の実際」	内科・総合診療科 勝呂俊昭
第4回	「CTにてCVポートの破損を指摘した一例」	消化器内科 久保田良政
	「血痰、呼吸困難で即日入院した一例」	内科・総合診療科 小野寺耕一

※第4回まで終了しております。

●開催予定日表 (第3木曜日18時~1時間30分程)

	開 催 予 定 日	担 当 診 療 科
第5回	平成22年9月16日(木)	循環器内科 内科・総合診療科
第6回	平成22年10月21日(木)	内科・総合診療科 消化器内科
第7回	平成22年11月18日(木)	内科・総合診療科 循環器内科
第8回	平成23年1月20日(木)	内科・総合診療科(2例)
第9回	平成23年2月17日(木)	消化器内科 内科・総合診療科

院長：山地誠一

診療科：耳鼻咽喉科・歯科口腔外科

出身大学名：北海道大学医学部（S46年卒）

出身地：旭川市

所属学会・資格：日本耳鼻咽喉科学会専門医

日本気管食道科学会認定医

補聴器適合判定医師

趣味：釣り・マージャン

《自院紹介・ピアール》

日頃から北見赤十字病院の先生方、特に耳鼻咽喉科の先生方には大変お世話になり、紙面を借りてお礼申し上げます。

当院は、開院14年目を迎え、少しでも地域の皆様のお役にたてるようにと、年中無休、土・日・祭日以外の日は夜間診療を行っています。平成21年度は耳鼻咽喉科317件、歯科口腔外科2,744件の手術を行うことが出来ました。

耳鼻咽喉科、歯科口腔外科の専門病院として、病気を治すのは勿論のこと、様々な痛みをかかえて受診する患者さんのニーズに応じた医療をしようと、外来ではめまいや耳鳴を含めた高齢者医療、耳鼻科と歯科口腔外科が協力したドライマウス外来に力を入れています。また昨年から、年2回の市民向けの公開講演会、患者さんや地域に向けて院内講演会、老人クラブなどに出向き出張講演会を年数回実施し、啓蒙や患者教育にも取り組んでいます。

地域医療の崩壊が各地で起きていますが、北見赤十字病院を抜きにして、オホーツクの医療は語れません。北見で医療が自己完結出来るよう、センターとしての北見赤十字病院が更に充実されることを期待します。当院も地域医療の一翼を担い、地域の皆様に信頼をしていただく病院になるよう、更なる努力をしたいと思っています。

医療法人耳鼻咽喉科麻生
北見病院

〒090-0836

北見市東三輪2丁目54番地8

TEL (0157) 23-4133

（診療のご案内）

	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	○
午後1:30~4:30	○	○	○	○	○	○	○
夜間6:00~7:00	○	○	○	○	○	×	×

※歯科口腔外科は予約制となっております。

予約電話番号 (0157-23-4134)

登録医紹介

院長：芦野英博

診療科：内科・心療内科

出身大学名：旭川医科大学（S57年卒）

出身地：旭川市

所属学会・資格：北海道精神分析研究所

北海道精神神経学会

心身東洋医学研究会

趣味：水泳

最近の実感：No real problem has a solution

《自由に、思いつくままに、書かせていただきました。》

まず、北見赤十字病院 地域医療連携室からは定期的に情報を送っていただきありがとうございます。患者さんへの紹介に大切に使わせていただいております。

さて、勤務医を10数年その後、開業して今その同じ年数に近づいています。勤務医と開業医と同じ年数、経験して来ています。

ここ数年、頭に浮かぶ言葉が、「労働者」。この医師という職業、今の時代の医師って「一労働者なんだな」昔はもう少し医者の数があったように。別に一労働者で悪くはないけれど、裁量がない割には責任、周囲の期待が大きい仕事だと感じているのは、私だけなのだろうか。ある大学の法医学の教授が、ある事件の法医学解剖の報告書に「適切な治療をしていたら助かったかもしれない」と記載したこと。法医学が治療の適切さを判断出来るのか、議論になつた。そもそも、治療の適切さって誰がどう判断するのだろう。

勤務医時代、「こんなに、こじれる前に紹介してくれれば・・・」

開業医の今、「適切に紹介するのはどの段階で・・・」

病院と診療所、それぞれの状況とそれぞれの地域で、患者さんの価値観も多様化しているこの時代、「適切な判断・・・」さてどこに正解があるのでしょう。楽しい時代なのか難しい時代なのか、歴史は繰り返しているのか・・・。どうぞこれからもよろしくお願ひいたします。



あしの医院



〒090-0812

北見市南仲町1丁目4-12

TEL (0157) 68-1380

（診療のご案内）

	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前9:00~12:30	○	○	○	○	○	○	×
午後2:00~5:30	2:00 6:00	○	×	2:00 6:00	○	×	×

「呼吸器外科・専門外来」

第三外科部長
新 関 浩人

今回は、当院における呼吸器外科の現状を紹介させていただきます。

現在、肺癌治療を中心として、自然気胸、縱隔腫瘍などの各種疾患の治療を行っています。2009年の呼吸器外科手術数は80例で、内訳は、原発性肺癌24例、転移性肺癌の例、縱隔腫瘍5例、自然気胸22例、膿胸・アスペルギローマなどの感染症10例、生検手術9例、外傷1例です。当科では、胸腔鏡手術を積極的に取り入れており、安全性や確実性を損なうことなく、身体への負担が少ない手術を心がけています。全症例の9割が胸腔鏡手術であり、低侵襲であるため早期離床・早期退院が可能となっています。

次に、代表的な疾患である原発性肺癌、転移性肺癌と自然気胸の治療に關し紹介させていただきます。

原発性肺癌は年々増加しており、1998年以降は癌死亡数の第1位となっています。原発性肺癌に対する標準術式は肺葉切除十縱隔リンパ節郭清ですが、一期のみならず、二期以上でも根治性が損なわれないと判断した限り、胸腔鏡手術を適用しています。胸腔鏡による肺葉切除

術では、5mmの小切開創と2ヶ所のポート孔から完全モニター視で行います。近年は、画像診断の進歩に伴い、いわゆる早期肺癌が多く発見されるようになります。気管支鏡やCTガイドによる生検では診断し得なかつた末梢小型肺癌に対しても、胸腔鏡を用いた診断や治療に積極的に取り組んでいます。一方、進行癌においては、内科、放射線科と協力し、手術・化学療法・放射線治療などを組み合わせた集学的治療にも取り組んでいます。



緩和ケア研修会に参加して

医療法人社団 邦栄会 本間内科医院

副院長 本間 栄志

私が今回の緩和ケア研修会に出席しようと考えた理由には、次の3つがありました。
 ①これまで自分が在宅で行ってきた緩和ケアが、ガイドラインに沿った正しい方法であつたかを再確認するため、
 ②北見赤十字病院の緩和ケアに携わる方々と在宅緩和ケアに移行する際の連携を深めるため、
 ③がん性疼痛緩和指導薬を当院で算定できるようにするために、
 ④にこの研修会に参加して、専門医が勉強しています。常に新しい技術を取り入れ、安全で質の高い医療の提供を目指努めています。呼吸器外科の初診は金曜日ですが、緊急性のある症例に関しては随時対応いたします。どうぞお気軽にご相談下さい。



私 が 今 回 の 緩 和 ケ ア 研 修 会 に 出 席 しよ う と 考 え た 理 由 に は、 次 の 3つ が あ り ま し た。
 ① こ れ ま で 自 分 が 在 宅 で 行 っ て き た 緩 和 ケ ア が、 ガイ デ ライン に 沿 つ た 正 確 の 方 法 であ つ た か を 再 確 認 す る た め、
 ② 北見赤十字病院 の 緩 和 ケ ア に 携 わ る 方々 と 在 宅 緩 和 ケ ア に 移 行 す る 方々 と 在 宅 緩 和 ケ ア に 移 行 す る 地 域 で 緩 和 医 療 を 実 践 さ れ て いる 先 生 方 も 参 加 さ れ、 研 修 会 の 最 後 に オ ホ ー ツ ク 國 の 緩 和 医 療 ネ ッ ツ ワー ク 構 造 の 第 一 步 の よ う に 思 わ れ、 非 常 に 有 意 義 な 研 修 会 で し た。
 在 宅 で 最 期 を 迎 え た い と 希 望 さ れ る 患 者 様 と そ の 御 家 族 が 何 の 不 安 も な く、 御 希 望 通 り の 在 宅 緩 和 医 療 を 受 け ら れ る よ う に、 今 後 も 北見赤十字病院 を 始 め、 オ ホ ー ツ ク 國 の 各 医 療 機 関 と 緩 和 医 療 に 関 し て 連携を と く 一 部 で あ つ た こ と を 思 い 知 ら さ れ ま し た。 私 は こ れ ま で 癌 性 痛 痛 が 保 た れ れば、 肺 転 移 症 の 大 き さ や 数 に こ だ わ り ず 手 術 を 施 行 し て い ま す。

自然気胸に対しては、まず保存療法として、胸腔ドレーンを用いた入院治療や、希望があればソフシックベントによる外来治療を行います。保存療法を行つても気道が止まらない場合や、再発を繰り返す場合、早期社会復帰を目的とした手術希望がある場合は手術適応としています。手術後は3日ほどで退院

介頂きましたが、非常にスムーズに在宅緩和ケアに移行できております。また今回の研修会では、北見市内の医師・看護師の方はもちろん、置戸町や小清水町などの地域で緩和医療を実践している先生方も参加され、研修会の最後にオホーツク國の緩和医療構想等について皆さんでディスカッショングもでき、この研修会がオホーツク國の緩和医療ネットワーク構築の第一歩のように思われ、非常に有意義な研修会でした。

在宅で最期を迎える患者様とその御家族が何の不安もなく、地域希望通りの在宅緩和医療を受けられるように、今後も北見赤十字病院を始め、オホーツク國の各医療機関と緩和医療に関して連携を深め、当院が緩和医療ネットワークの牽引の一つになれればと考えております。

私はこれまで癌性疼痛や倦怠感を取り除くことに重きを置き緩和ケアを行ってきましたが、この研修会ではそれ以外にも患者様との御家族に対するがん告知や精神的ケアを行ってきましたが、この研修会ではそれ以外にも患者様との御家族に対するがん告知や精神的ケアの実践方法、モルヒネ製剤の説明方法、さらに名薬剤を使用した際の副作用対策に至るまで、全人的ケアが重要であることを学びました。この研修会以降、新規2例の在宅緩和ケアを開始しておりますが、急速実践させて頂き少しでも理想的な緩和医療に近づければと考えております。
 ②に關して、これまで北見赤十字病院中の患者様の在宅緩和医療に携わることがありましたが、十分な医師—医師周と看護師—看護師の連携がとれず、患者様の経過や家族背景などを在宅緩和医療開始後に電話等で傍だだしく伺うようなことが何度ありました。しかし今回研修会以降、お互い顔が見える連携がとれるようになつたため、早速新規1例の在宅で最期を迎える患者様を御紹介します。

専門看護師と認定看護師のご紹介

看護部長 上野富衣

高度化・専門分化が進む医療現場における看護ケアの広がりと看護の質向上を目的に、看護師の意識で資格認定制度が十数年前に発足しました。認定は専門看護師、認定看護師、認定看護管理者の3つの資格があります。

日本看護協会では、教育機関の認定と専門の教育・研修を受けた看護職への資格認定を行っています。1996年に専門看護師が初めて誕生し、1997年に認定看護師が、1999年に認定看護管理者が誕生しています。当院には、2010年7月現在専門看護師が1名と認定看護師が11名いますので、ご紹介いたします。

専門看護師は、複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族及び集団に対して水準の高い看護ケアを効率よく提供するため特定の専門看護分野の知識及び技術を深め、保健医療福祉専門看護分野において①実践②研究③相談④調整⑤倫理調整⑥教育の6つの役割を果たします。専門看護分野とは、変化する看護ニーズに対して、独立した専門分野として知識及び技術に広がりと深さがあると制度委員会が認めめたものをいい、現時点では、精神看護、老人看護、小児看護、慢性疾患看護、急性重症患者看護、感染症看護、家庭支援の10分野があります。

認定看護師になるためには、認定看護師教育課程（6ヶ月）の実務研修が必要になります。現在、専門看護師は451名（2010年2月）、認定看護師は7、363名（2010年7月）。全国でいますが、当院には、がん看護専門看護師1名

専門看護師になるためには、看護系大学院修士課程修了者で所定の単位を取得することが必要です。認定看護師は今年度の認定を受けた看護職への資格認定を行っています。専門看護師が初めて誕生し、1997年に認定看護師が、1999年に認定看護管理者が誕生しています。

専門・認定看護師はともに、看護実践ができる認定看護師を社会に送り出すことで、看護現場における看護ケアの広がりと質の向上を図ることを目的としています。そのためには、看護技術及び知識を必要とする看護分野とは、高度化及び専門分化する保健、医療及び福祉の分野において、実践②指導③相談の3つの役割を果たします。

認定看護師は、専門看護技術及び知識を必要とする看護分野として制度委員会が認めたものをいい、現時点では、救急看護、皮膚・排泄ケア、集中ケア、緩和ケア、がん化学療法看護、透析看護、手術看護、乳がん看護、損食・嚥下障害看護、小児看護、感染看護、認知症看護、脳卒中リハビリテーション看護、がん放射線療法看護、慢性呼吸器看護、心不全看護の21分野があります。（＊は分野認定のみ、認定者はまだいません）

※各年12月末日の登録者数

市民公開講座開催について(案内)

地域がん診療連携拠点病院の事業の一環として、地域住民の皆様にがんの予防・がんの早期発見・啓発を目的に市民公開講座を開催することになりました。

1部は当院の医師が講演を行い、2部はがん専門看護師が進行役を務め、講演医師がパネラーとなり意見交換会を行います。

つきましては、連携医療機関の皆様・行政機関等の皆様にご聴講戴き、診療・検診等へお役立ていただければ幸いに存します。又、皆様からの反響のないご意見・要望等をお待ちしております。

北見赤十字病院 市民公開講座

ここまできた北見のがん医療！ 【早期診断と治療のすゝめ】

北見赤十字病院

北見市・北見保健所・北見医師会

2010年8月28日(土) 13:00~16:00

解説

解説会ホール

北見市東町1丁目2番2号 北見医療会館にお越し下さい

北見赤十字病院 病院

吉田 誠夫

解説

【第1回】

「ここまできた北見のがん医療～放射線治療～」

北見赤十字病院 放射線科医長 有本 卓郎

「子宮がんは手防できる！」

北見赤十字病院 妇産人科医長 水沼 正弘

「腫瘍細胞学」

北見赤十字病院 腫瘍科医長 金井 寛樹

「消化器がんの診断と治療」

北見赤十字病院 消化器内科医長 上林 実

【第2回】

解説会長 北見赤十字病院長 がん看護専門看護師 黒 珠子

パネラー 有本 卓郎・水沼 正弘・金井 寛樹・上林 実

* 許可証に記載がある方へ。料金を含む料金を支払う場合に限り有効です。
お問い合わせ: 北見赤十字病院 2F 北見赤十字病院 事務室

Tel: 0157-24-2111 Fax: 1128 Tel: 0157-22-2331

■専門看護師認定者数 推移

年(西暦)	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010年 2月現在
がん看護	4	5	7	7	9	15	18	32	45	59	79	104	129	193	193
精神看護	2	4	5	6	8	9	11	19	25	29	39	45	53	69	68
地域看護		2	2	2	2	2	2	3	3	6	6	8	9	14	14
老人看護							3	5	6	9	10	13	14	24	24
小児看護							6	9	12	16	17	22	27	40	40
母性看護							3	4	4	8	14	17	27	27	27
慢性疾患看護							4	10	13	17	25	34	34		
難疾患看護							7	13	16	26	42	42			
障害者看護										1	1	1	4		
家族支援										3	5	5			
合計	6	11	14	15	19	26	40	71	99	140	186	240	304	452	451

■分野別認定看護師数年次推移

年(西暦)	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010年 2月現在
救急看護	23	44	55	65	82	98	116	140	168	235	299	360	419	507	
皮膚・非難看護	36	88	159	203	228	256	286	311	347	442	570	818	1,132	1,391	
集中ケア		35	78	103	153	201	245	286	330	382	421	471	537		
緩和ケア	8	26	44	59	80	101	186	303	420	573	754	919			
がん化学療法看護		10	25	47	68	116	148	204	268	416	627				
がん性疼痛看護	19	37	61	92	120	163	188	224	267	323	395	460			
感染管理		16	59	103	146	247	390	584	769	960	1,179				
難疾患看護		15	31	57	87	114	147	175	201	248					
不妊症看護		14	26	40	52	63	73	87	100						
新生児集中ケア			30	56	87	113	140	183							
透析看護			16	37	58	74	95	115							
手術看護		30	62	86	116	150	179								
訪問看護		17	35	65	131	198									
乳がん看護		20	51	79	106	135									
損食・嚥下障害看護		31	60	108	155	223									
小児救急看護		15	35	62	88	111									
認知症看護		10	35	61	94	122									
集中ICUリハビリテーション看護															79
がん放射線療法看護															30
合計	59	132	276	409	546	758	998	1,257	1,741	2,486	3,383	4,458	5,794	7,363	

※各年12月末時点での登録者数

～新しい医師を紹介します～

(平成22年2月～)



職員共済会ビールパーティーに OB・開放病床利用医師を招待

7月23日（金）18時00分より、ホテルベルクラシック北見にて開催されました。今年、初めて当院OBの先生や、開放病床の利用をいただいている先生方にも参加のご案内をし、5名の先生方に参加の申し込みをいただきました。

今回は特にセレモニーなど行わず、司会者より参加予定の5名の先生方の紹介をした後は、一参加者として、先生方にも楽しんでいただきました。各診療科の先生と情報交換をしたり、昔懐かしい職員との会話に花が咲いたり、もちろん恒例の大抽選会も楽しんでいただけたのではないかと思います。

今後も、当院OBの先生や、開放病床利用の先生が、気軽に参加していただければと思います。



外来ご案内

診療科目

- 内科・総合診療科
- 消化器内科
- 神経精神科
- 循環器内科
- 小児科
- 外科
- 整形外科
- 形成外科
- 脳神経外科
- 皮膚科
- 泌尿器科
- 産婦人科
- 眼科
- 頭頸部・耳鼻咽喉科
- 放射線科
- 麻酔科
- ペインクリニック・心療内科

休 診

- 土曜日 ●日曜日 ●祝日
- 12月29日～1月3日
- 5月1日（日本赤十字社創立記念日）

事前予約について

紹介状を持参される患者様につきましては、患者様の受診希望日時を事前にFAXにて予約診療のお申込みいただきますと、診察当日、待ち時間が短縮されます。ぜひご利用願います。

（但し、急患の場合は各科へ直接連絡願います。）

診察カード

診察券は全科共通で使用いたします。

ご来院時に必ずお持ちください。

保険証

健康保険証はご来院時に確認させていただいております。特に、更新・変更の際は必ずご提出下さい。

地域医療支援病院



北見赤十字病院

『理 案』

人道・博愛に益づき、患者様を尊重した医療を提供し地域の期待と信頼にこだわっています。

『基 本 方針』

1. 再び患者本位の医療を提供する、モラルと技術の高い病院を目指します。
2. 二度目の救急医療と高度医療の充実した病院を目指します。
3. 病員が成長でき、働く満足度の高い医療を目指します。
4. 健全経営を行い、医療活動を通じて地域社会に貢献します。

『患者様への権利』

1. 患者もが年齢・性別・人種・障害などに問わず公平に医療を受ける権利があります。
2. 患者もが一人の人間としての尊厳を尊重されながら医療を受ける権利があります。
3. 患者もが分かり易い言葉や方法で、理解・納得できる十分な説明と情報提供を受ける権利があります。
4. 患者もが納得したうえで自らの意思で医療行為を選択または拒否する権利があります。
5. 患者もが透明に納得できない場合は他の病院・他の医師に意見を求めることがあります。（セカンド・オピニオン）ができる権利があります。
6. 患者もがプライバシー（個人情報保護法）を尊重し保護される権利があります。
7. 患者もが自分の診療記録の情報を得る権利があります。

『患者様へのお願い』

1. 患者様及び御家族の方々は、患者様の健康状態、アレルギー歴、既往歴等について出来るだけ正確にお伝え下さい。
2. 医療スタッフの説明を良くお聞きになり、ご理解のうえ指示に従って治療や検査などの医療行為をお受け下さい。
3. 病院内では携帯電話、市内の音楽機器の運転にならない場所にお願いいたします。
4. 医療費は遠慮なくお支払い下さいますようにお願いいたします。
5. 当院は臨床研修病院として、卒前・卒後研修教育を行っています。医療専門職の育成にご理解・ご協力をお願いいたします。

北見赤十字病院 診療一覧表

平成22年7月1日現在

※都合により担当医が変更になる場合があります。

診療科	月	火	水	木	金
内科・総合診療科	田中	田中	田中	佐藤	#佐藤
	佐藤	#佐藤	#佐藤	吉田(知)	吉田(知)
	吉田(知)			勝呂	
	勝呂			新川	新川
	新川	吉田(茂)	吉田(茂)	大野	大野
	大野	永嶋	永嶋		
検査・予約診療・急患診療のみ					
消化器内科	柳原	牧山	柳原	常松	牧山
	上林	常松	岩永	上林	岩永
	水島	久保田		水島	久保田
検査・予約診療・急患診療のみ					
循環器内科	及川	齊藤	齊藤	森本	及川
	森本			森本	
	勝山	野口	勝山		野口
検査					
神経精神科	新川 (再米)	藪本	鳴田	有末	鳴田
	再米	有末	有末	鳴田／藪本	藪本／伊藤
予約・急患診療のみ					
小児科	三河	齊田	三河	三河	齊田
	鳴神	阿部	三河		三河
外科	齊田	金田・高橋	高橋・伊藤	金田	阿部
	新川	三河	齊田	鳴神・高橋	齊田
整形外科	池田	北上	菊地	村上	新川
	再米	菊地	村上	須永	池田
形成外科	小出・菊地	村上	須永	池田・山本	新川
	再米			山本	内野義洋
手術					
脳神経外科	菅原	#菅原	井中川	井森未	#菅原
	#森未	中川	結城	結城	森未
皮膚科	結城	柴田	柴田	柴田	中川
	(手術)	手術	手術	手術	(手術)
泌尿器科	検査	手術	手術	手術	手術
		1ヶ月間定期手術			
#紹介患者専用					
形成外科	藤井 (予約のみ)	手術	大谷 (予約のみ)	藤井	手術
	藤井		大谷		
皮膚科	大谷	手術	手術	手術	レーザー外来
					しみ外来
泌尿器科	津田	鈴木	鈴木	緊急診療	高杉
				急患診療のみ	
皮膚科	高橋	高橋	高橋	高橋	高橋
	岩崎	岩崎	岩崎	岩崎	岩崎
泌尿器科	高橋	手術	高橋	手術	手術
	岩崎		岩崎		
産婦人科	佐々木	佐々木	佐々木	佐々木	佐々木
	検査	手術	手術	手術	検査
産婦人科	島野	水沼	島野	根岸	水沼
	根岸	足立英文	東	足立英文	東
眼科	水沼	東	根岸	島野	足立英文
	手術	検査・母乳授乳	手術	手術	手術
眼科	高橋	菅原	高橋	菅原	高橋
	奥	奥	奥	奥	奥
頭頸部・耳鼻咽喉科	高橋	予約検査	手術	予約検査	手術
	金井	和田	金井	手術	金井
放射線科	和田	上村	上村	手術	和田
	森合	森合	森合	手術	上村
放射線科	予約診療	手術	手術	手術	予約診療・手術
	有本	有本	有本	有本	「ヨコハマ市立病院」
急患診療のみ					
ペインクリニック	ペインクリニック	ペインクリニック	心療内科	ペインクリニック	ペインクリニック
	午後	ペインクリニック	心療内科	ペインクリニック	ペインクリニック
心療内科	クリニック	クリニック	緩和外来	クリニック	クリニック
麻酔科	午前(術前診療)	元川	望月	佐藤	寺田

～地域医療連携室より～

紹介患者さま持参のCD-R、DVDについてのお願い

当院では、診療情報提供書と一緒にご持参いただく画像資料について、受付の段階で撮影部位、撮影方法により、写真診断料を確認しております。CD-R、DVDにつきましては各受付において、その場で確認ができない環境にあるため、患者様をお待たせしてしまう場合がございます。

できましたら、大変お手数とは存じますが、撮影部位、撮影方法を予め明記していただきますよう、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

受付時間：月曜日～金曜日 午前8:30～5:00迄
TEL0120-018-299 FAX0120-018-599
E-mail:renkei@kitami.jrc.or.jp

北見赤十字病院 地域医療連携室

ご意見・ご要望がございましたら、地域医療連携室までお願いいたします。